

令和5(2023)年度 木曾岬町立木曾岬小学校 第3学年 シラバス (4科/全7科)

教科 目 標	国語科		社会科		算数科		理科								
	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次の通り育成することを目指す。 (1)日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようになる。 (2)日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (3)言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。		社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。 (1)地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解するとともに、様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようになる。 (2)社会的現象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を捉えて、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。 (3)社会的現象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。		数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。 (2)日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし総合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。 (3)数学的活動の楽しさや数学のよさに気付く、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする態度、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。		自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2)観察、実験などを行い、問題解決の力を養う。 (3)自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養う。								
学 年 目 標	【知識及び技能】 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。		【知識及び技能】 身近な地域や市区町村の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動や地域の産業と消費生活の様子、地域の様子の移り変わりについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 社会的現象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。 【学びに向かう力・人間性等】 社会的現象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。		【知識及び技能】 数の表し方、整数の計算の意味と性質、小数及び分数の意味と表し方、基本的な図形の特徴、量の概念、棒グラフなどについて理解し、数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数などの計算をしたり、図形を構成したり、長さや重さなどを測定したり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 数とその表現や数量の関係に着目し、必要に応じて具体物や図などを用いて数の表し方や計算の仕方などを考察する力、平面図形の特徴を図形を構成する要素に着目して捉えたり、身の回りの事象を数値から考察したりする力、身の回りにあるものの特徴に着目して捉え、量の単位を用いて的確に表現する力、身の回りの事象をデータの特徴に着目して捉え、風潮に表現したり適切に判断したりする力などを養う。 【学びに向かう力・人間性等】 数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付く生活や学習に活用しようとする態度を養う。		【知識及び技能】 ①物質・エネルギー ②物の性質、風とゴムの力の働き、光と音の性質、磁石の性質及び電気の回路についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 ③生命・地球 ④身の回りの生物、太陽と地面の様子についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 【学びに向かう力・人間性等】 ①物質・エネルギー ②物の性質、風とゴムの力の働き、光と音の性質、磁石の性質及び電気の回路について追究する中で、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力を養う。 ③生命・地球 ④身の回りの生物、太陽と地面の様子について追究する中で、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力を養う。 【学びに向かう力・人間性等】 ①物質・エネルギー ②物の性質、風とゴムの力の働き、光と音の性質、磁石の性質及び電気の回路について追究する中で、主体的に問題解決しようとする態度を養う。 ③身の回りの生物、太陽と地面の様子について追究する中で、生物を愛する態度や主体的に問題解決しようとする態度を養う。								
	学 期	月	学習内容	月	学習内容	月	学習内容	月	学習内容						
1	4	よく聞いて、じこしょうかい どきん／つづけてみよう きつぎの商売 図書館たんでい 国語辞典を使おう 漢字の広場①	4～5	わたしたちのまちのようす 1 校区たんけんに行こう ○都道府県の中の自分たちの市(区・町・村)の位置について知る。○学校のまわりの様子を調べ、同じ学校のまわりでも場所によって違いがあることを知る。○四方位や主な地図記号について知る。○学校のまわりの様子について話し合い、その特色を表現する。○同じ学校のまわりでも、場所によって違いがあることを考える。○学校のまわりの様子について、その特色の調べ方を工夫しようとする。○調べたことを話し合い、わかりやすく表現する。	4	○学びのとびら 1. かけ算<乗法と積の関係、交換法則をとらえる> 2. 時ごとく時間のもとめ方<時刻と時間を求め、「秒」の単位をとらえる> 3. わり算<除法の意味(等分除・包含除)をとらえる> 4. たし算とひき算の筆算<3位数の加減計算をする> 5. ○考える力をのばそう 6. 暗算<2位数どうしの加減計算の暗算をする> 7. あまりのあるわり算<除数と商が1位数で余りのある除法計算をする>	5	5	5. 春のくらし 漢字の音と訓 もっと知りたい、友だちのこと 漢字の広場② 言葉で遊ぼう／こまを楽しむ 6	6	6	6. 2 木曾岬町を調べよう ○自分たちの町の地形、土地利用、交通の広がり、町役場など主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布について、見学や資料をもとに調べる。○自分たちの町について調べたことを、白地図などにまとめる。○自分たちの町について調べ、場所ごとの様子を比較する。○自分たちの町場所ごとの様子を比較し、違いを考え、その特色を文などで表現する。○自分たちの町の地形、土地利用、交通の広がり、町役場など主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布を工夫して意欲的に調べる。○自分たちの町の様子について調べたことを、わかりやすく表現し、話し合う。○学習をもとに、わたしたちの住んでいる町の様子について関心をもって調べる。	7	7	7. 仕事のくふう、見つけたよ 夏のくらし はじめて知ったことを知らせよう 鳥になっきたきょうりゅうの話
	5	6		6	6	6		6	6		6				
2	9	わたしと小鳥とすずと 夕日がせなかをおしてくる 山小屋で三日間すごすなら ポスターを読もう へんとつくり ローマ字	9～10	まちではたらく人びと 1 ものづくりの仕事を見に行こう ○自分たちの町では、様々な工業製品や農産物がつくられていることを知る。○工場や農業の仕事には、一定の順序や製品をつくるための工夫があることを知り、それを見学や資料をもとに調べる。また、調べたことを白地図などにまとめることを学ぶとともに、自分たちの町でつくられている工業製品や農産物は、地域の人々の生活や地域の特色に関連していることを知る。○自分たちの町にある工場の分布や工場の仕事、農作物の産地の分布や農家の仕事について、その特色や工夫を文などで表現することを学び、地域の人々の生活を関連付けて考え、それらの仕事について工夫して意欲的に調べ、わかりやすく表現し、話し合う。	9	8. 大きい数のしくみ<1億までの位取りの原理をとらえる> 9-10 9. かけ算の筆算(1)<2～3位数に1位数をかける除法計算をする> 10 10. 大きい数のわり算、分数とわり算<等分除と分数の意味を関連付ける> ○どんな計算になるのかな? 11. 円と球<円・球の概念をとらえ、コンパスによる作図をする> 12. 小数<小数の意味をとらえ、加減計算をする> 13. 重さのたんいとはかり方<重さの概念をとらえ、加減計算をする> 14. 分数<同分母分数の加減計算をする>	10	10	10. ちいちゃんのかげおくり 修飾語を使って書こう 秋のくらし はんで意見をまとめよう 漢字の広場④	11	11	11. すがたをかえる大豆／食べ物のひみつを教えます ことわざ・故事成語 漢字の意味	12	12	12. 短歌を楽しもう 漢字の広場⑤ 三年どうげ たから島のぼうけん 冬のくらし
	10	11		11	11	11		11	11		11				
3	1	詩のくふうを楽しもう カンジーはかせの音訓かるた 漢字の広場⑥ ありの行列	1	安全なくらしを守る 1 なくそう こわい火事<火災の際の組織連携、予防に関する取組について知り、それらについて意欲的に調べよう> 2 ふせごう 交通事故や事件<事故・事件が起きた際の組織体制や予防活動について知り、調べたことをまとめる>	1	15. □を使った式<未知の数量□を式で表し、値を求める> 16. かけ算の筆算(2)<きまりを使った乗法の計算の工夫をする> 2	2	2	2. つたわる言葉で表そう これがわたしのお気に入り コンピュータのローマ字入力	3	3	3. 木曾岬町のうつけりかわり 2～3 1 町の様子とくらしのうつけりかわり <自分たちの町や人々の生活の様子の移り変わりについて知り、調べたことをまとめ、話し合う>	3	3	3. 11. ものと重さ <もの形や体積と重さの関係などのものの性質の理解> ○おもちゃランド
	2	3		2	2	2		2	2		2				
授 業	○ ワークシートやノートのもとめ方を工夫させることにより、自分なりの考えを持ちながら学習が進められるように工夫する。 ○ 発音・発声、文字、語句、文章など国語についての基礎的な事項の定着を図ることを大切に、他教科とも関連させる工夫をする。 ○ 表現活動(音読発表、スピーチなど)を取り入れ、読みとったことを発表させる。		○ 実際に地域の人に会い、インタビューや観察・調査を行うなどの体験を大切に。○ 活動を通して気づいたことや理解したことをいろいろな方法で表現する。		○3年生では、かけ算・わり算の学習が大きな割合を占める。学習内容を確実に身につけていくためにドリル学習を継続的に取り入れていく。 ○ 「算数の楽しさ」「算数のよさ」を児童が感じ、日常的に算数を活用していくことができるように、具体物を用いた活動を取り入れたり、一人ひとりの多様な考えを生かす場を設けたりして、主体的に学習できるようにする。		○実験や観察を大切に、できるだけ一人ひとりが個別に活動できるようにする。 ○学習したことを生かせるようにものづくりの活動を多く取り入れる。 ○継続的に観察し、記録していくことを大切に。								
	○ 単元ごとのテスト、小テスト(音読、漢字など)、プリントやノートなどの提出物、授業態度や、発言内容、取り組み方などの過程、作文、学習のまとめなどによって評価する。		○ 単元ごとのテストによる評価とともに、日々の授業の中での取り組み態度や、発言、ノート、学習のまとめなどから、一人ひとり児童の関心や理解の状況を評価する。		○ 単元毎のテストだけでなく、平常のプリントやノート、学習中の意欲や発表、行動の様子などで評価する。 ○学習意欲を高めるために自己評価の活動も取り入れる。		○単元ごとのテストによる評価だけでなく、観察や実験の予想、計画や結果などを記したノートやワークシートなどからも評価する。 ○観察や実験中の態度や発言などからも評価する。								
家 庭	○ 物語文などでは、聞き手を意識した音読ができるように「音読練習カード」を使う。毎日の家庭学習として位置づける。 ○ 漢字の定着を図るため漢字ドリルや漢字学習ノートを使う。 ○ 継続的な読書をするため、図書室、学級文庫の本を活用する。		○ 学習への関心を広げたり理解を確かなものにしていくために、校外学習を行ったり、家庭学習で地域に関する情報を家の人に尋ねたり、家庭で公共施設を利用するようにお願いをしたりして、学習につながる様々な活動を計画し、実施する。		○ 算数の学習内容を確実に定着させるために、家庭学習(プリント・ドリル)の習慣化を図るようにする。		○授業の中で昆虫や植物を学習の対象とするだけでなく、育てる活動を大切に。 ○自然や生き物への関心が深まるように、日頃から地域の自然に親しむ機会を設けるように家庭にもお願いする。								

令和5(2023)年度 木曾岬町立木曾岬小学校 第3学年 シラバス (3科/全7科)

	音楽科	図画工作科	体育科
教科目標	表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (2)音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴くことができるようにする。 (3)音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。	表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色など豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。 (2)造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (3)つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を想像しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)その特性に応じた各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。 (2)運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3)運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。
学年目標	【知識及び技能】 曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 進んで音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽体験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	【知識及び技能】 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して分かること、手や身体を十分に働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 造形的なよさや面白さ、表したいこと、表し方などについて考え、豊かに発想や構想をしたり、身近にある作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 進んで表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。	【知識及び技能】 各種の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方及び健康で安全な生活や体の発育・発達について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 自己の運動や身近な生活における健康の課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力・人間性等】 各種の運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とも仲よく運動をしたり、友達のを認めたり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで努力して運動をする態度を養う。また、健康の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。
学期	月 学習内容	月 学習内容	月 学習内容
1	4 1.音楽で心をつなげよう<A表現(歌唱・器楽、音楽づくり)> 4-5 2.歌って音の高さをかんじとろう<A表現(歌唱、器楽、音楽づくり)> 5-6 3.リコーダーのひびきをかんじとろう<A表現(器楽)、B鑑賞> 6-7 4.拍ののってリズムをかんじとろう<A表現(歌唱、器楽、音楽づくり)>	4 お城の絵〈白を混ぜて違う色を作る〉 5 光と色のファンタジー 〈光を通す材料を組み合わせる〉 6 絵のぐ+水+ふで=いいかんじ! 〈絵の具で好きな色を作って描く〉 7 ふき上がる風にのせて 〈風のかで動くものをつくる〉	4 体ほぐしの運動(リズム運動・用具を用いた運動) 4-5 走の運動(50m走 リレー 小型ハードル走) 5 跳び箱運動(開脚跳び、台上前転、首はね跳び) 6 マット運動(前転・後転・開脚前転・開脚後転・側方倒立回転) ネット型ゲーム(ソフトバレー) 6-7 水泳(浮いて進む運動・もぐる浮く運動)
2	9 5.せんりつのとくちょうをかんじとろう<A表現(歌唱、器楽)> 10 6.曲のかんじを生かそう<A表現(歌唱、器楽)、B鑑賞> 11-12 7.いろいろな音のひびきをかんじとろう<A表現(歌唱、器楽、音楽づくり)、B鑑賞>	9 くぎうちトントン 〈金づちで釘を打ってつくる〉 10 カボチャの絵 〈絵の具と墨で表現する〉 11 「小さな自分」のお気に入り 〈小さくなった自分の好きな場所をつくる〉 12 ことばから形・色 〈詩や物語のことばから想像して絵に描く〉	9 徒競走・リレー 表現・リズムダンス(運動会につながる表現運動) 10 体ほぐしの運動(伝承遊び・集団による運動) 多様な動きをつくる運動(バランス運動・用具を操作する運動) 10-11 鉄棒運動(前回り下り・かかえ込み前回り・転向前下り・膝掛け振り上がり) 11 跳の運動(幅跳び・高跳び) 12 ベースボール型ゲーム(キック・ハンドベースボール) 保健(健康な生活)
3	1 8.ちいきにつたわる音楽でつながろう<A表現(器楽、音楽づくり)、B鑑賞> 2-3 9.音の重なりをかんじて合わせよう<A表現(歌唱、器楽)、B鑑賞> 適宜 ○みんなで楽しく<A表現(歌唱、器楽)>	1-2 ぐるぐるランド 〈割りピンを使って回る仕組みをつくる〉 3 あの日あの時の気持ち 〈生活の中で心に残ったことを絵に表す〉	1 多様な動きをつくる運動(力試し・動きを組み合わせる運動) 1-2 表現・リズムダンス(具体的な生活・空想の世界) 2 跳の運動(なわとび) 3 ゴール型ゲーム(ボートボール・ラインサッカー)
授業	○発達段階に応じた音楽表現の基礎を大切に。 ○学習の約束を守り、聴くことを大切に。 ○お互いの表現を大切に、表現する楽しさを味わえるような授業を目指す。	○一人一人が自分の気持ちを、のびのびと表現できるように、題材の工夫や支援の方法を考え授業づくりをする。 ○児童相互の表現方法の交流をもつことや関わりを大切に授業づくりをする。	○児童の実態に応じた課題の達成に向けて挑戦できるようにグループ練習などを取り入れ、一人一人の意欲や体力・技能を伸ばす。 ○みんなが楽しめるようなルールや動きを工夫して考えることを重視する。 ○自分の体力を自覚し目標をもって学習できるようにするとともに、体力(中学年では主に敏捷性や調整力)の向上を図る動きを多く取り入れる。
評価	○実技のテストや授業中での表現活動で評価する。	○児童の表現活動の様子を観察したり、振り返りカードなどで児童の活動内容を確認したりして評価する。 ○材料や用具の準備状況や作品を大切に作る姿勢などを評価する。	○運動技能や知識についての評価だけでなく、関心や意欲を重視する。 ○運動の楽しさを味わうための工夫や自分の運動能力に応じた目標に向けた努力の様子を評価する。また、自己評価カードや児童相互の評価も大切に。
家庭	○音楽科は反復活動により表現の技能は高まるため、新しい歌を歌ったり、リコーダーの練習をしたりする様子を人に確認してもらうことでさらに意欲を持たせることができる。ご家庭での協力をお願いしたい。	○授業に必要な材料を、事前に学年通信で家庭にお願いする。 ○形や色の美しさ、表し方の工夫などに関心をもって見るることができるよう、家庭で親しみのある美術作品に触れる機会があればお願いする。	○授業時間は運動量をしっかりと確保する。また、休憩時間には、外で元気に体を動かして遊ぶことや、学校や家庭でも体力を高めるような運動を継続することを奨励する。

評価に関する考え方

学習評価について

令和2年度からは、学習評価の観点(連絡表の項目)が、すべての教科において、次の3つの観点を統一されました。

3つの観点で評価を行うとともに、3つの力を育てます!

①知識・技能
学習活動を通して、知識・技能を身に付けている状況を確認します。また、それだけでなく、身に付けた知識・技能をこれまでに習った知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活に活かせるくらいに理解したり身に付けているかどうかを評価します。

【育てる力】
一つ一つの知識や技能を身に付けながら、すでに持っている知識や経験・技能と組み合わせることで、身に付けた知識や技能をより定着させて、社会生活で使えるものにします。

②思考・判断・表現
知識や技能を活用して、課題を解決する等するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。

【育てる力】
・問題を発見し、自ら方法を考え、結果を予測しながらすすめ、解決していく力を身に付けます。
・あらゆる情報から自分の考えをつくり、文章や発話で表現したり、多様な考えを理解したりして、集団としての考えをつくり出していく力を身に付けます。

③主体的に学習に取り組む態度
自分の学習状況をつかみ、学習の進め方について粘り強く何度も試すなどして、自分の学習を調整しながら学ぼうとしているかを評価します。

【育てる力】
学習の目標を持ち、進め方を発見しながら新たな学習につなげながら、粘り強く知識・技能を身に付けたり、思考・判断・表現をしようとする力を身に付けます。

粘り強く、自己調整する姿のイメージ例
「できなかったところをもう一度やってみよう!」
「友達のやり方をまねてみたら、うまくいった!」
「となりの友達に聞いてみよう。」
「次はこのやり方を試してみよう。」

観点ごとの評価は、あらゆる学習活動の場面で、様々な方法によって、子どもたちの学習状況を捉えるものです。観点別に主な評価方法を示します。

知識・技能
○ペーパーテスト・実技テスト
・一つ一つの知識を身に付けたかを問う問題や、すでに持っている知識や経験・技能との関連性を問う問題 等
○知識や技能を用いる多様な方法
・知識や技能を用いて文章で説明したり、観察・実験をしたり、式やグラフで表すことができるか 等

思考・判断・表現
○ペーパーテスト
・知識や技能を活用して考え、文章や式を使って説明したり、判断した理由を問う問題 等
○論述やレポートの作成、発表
・知識や技能を活用して考え、文章や式、グラフを使って分かりやすく表現しているか
○グループや学級における話し合い
・自分の考えを友達に正確に伝えているか
・友達の考えや意見をよく聞き、自分の考えに活かしているか
・意見を出し合い、よさを認め合ったり、考えをまとめているか
○作品の制作や表現
・知識や技能がどのように活用されているか

主体的に学習に取り組む態度
○ノートやレポート等における記述
・課題を見だし、解決に向けて、思考・判断・表現することに粘り強く取り組んでいるか
・課題に対してまとめで振り返りを主体的に書き、新たな学習につなげているか
○授業中の発言や教師による行動観察
・自分なりの学びの工夫や、友達からの学び、次に活かしたいこと等が表れているか